

## H. ブロムシュテット—97 歳で N 響を指揮

藤原 道夫

ここ 30 年間 NHK 交響楽団（N 響）の定期公演に出たり入ったりしてきた。今シーズンは C 定期公演のチケットを通して求めた。10 月の公演ではブロムシュテットがシューベルト作曲「未完成」と「ザ・グレイト」を指揮する予定だ。氏は N 響の桂冠名誉指揮者で、例年 10 月にスエーデンから来日し A、B、C 定期公演を 2 回ずつ計 6 回指揮してきた。指揮の力量はともかく、音楽を楽しんでもらおうとする熱意が聴衆に伝わってきて人気があった。いかんせん今や高齢、果たして来日できるかどうか危惧された。去年はドクター・ストップがかかって来日できなかった。今年は 10 月になってもキャンセルの情報が入ってこない。

演奏会当日早めに NHK ホールに。いよいよ開演、団員が舞台に出揃う頃コンサート・マスター（コンマス）（川崎洋介）に抱えられてブロムシュテットが登場した。万雷の拍手が起こる。背が縮まり、コンマスより低く見える。自力で指揮台へ 2 段上がり、座って「未完成」の指揮を始めた。私の席から斜めに腕の振り具合が見える。動きは小さいながら以前と変わらぬきびきびした指揮ぶりだ。前に譜面台が置いてあるがめくる仕草がない。暗譜で指揮？ てらいのないオーソドックスな演奏で、弦によるアンサンブルの美しさも堪能できた。

指揮者は座ったまま指揮台の背もたれを両手でしっかり握り、顔のみ聴衆に向けて軽くお辞儀。指揮できた嬉しさ、そして熱心に聴いてくれた聴衆への感謝の気持ちに溢れる表情に見えた。一段と盛大な拍手が起こる。団員には左手を胸に当てて何度も頭を下げている。

後半は「ザ・グレイト」、60 分間にわたる演奏が始まった。これも暗譜で指揮、あるいはタブレットを使用していたか？ ともかく団員による熱演が続く。管楽器も弦楽器もよく響き渡り見事に終わった。指揮者は前半と同じように聴衆にお辞儀、拍手喝采鳴りやまず。

団員が引き上げて行くなか、ブロムシュテットはコンマスに抱えられて何回も舞台の端に出てきた。この時はノー・フラッシュ撮影ができる。多くの人たちが舞台下に集まった。そう、今日が指揮者にとってシーズン最後の舞台だった。N 響来シーズンのプログラムが発表されていて 10 月公演の指揮者にブロムシュテットの名が載っている。しかし来年の指揮は難しいだろう、多く人はそう予感して別れを惜んでいるかのよう。親日家である彼の気持ちはどんなだったろう。

音楽のことだけでなく、高齢者の活動力や心の有りように思いが広がる演奏会だった。